



# 育ちゆく

## 花実の森

②



### 子供たちの学習の森に

花実（はなみ）の森のもうひとつの柱に“学習の森”の創生があります。小学3年生の授業『自然環境体験学習』の場として整備を進めており、授業の具体的な企画の内容が決まり次第、神戸市の小学校に案内を出す予定です。

自然環境体験プログラムを通して自然の姿・はたらき、人と自然の関わりをたのしく学べる森・里山を提供できればと、今は現場の整備と並行して、求められている自然環境教育指導者の姿・理念などのソフト面を習得すべく、自主的な勉強会も開きながら“学べる里山”づくりに取り組んでいます。



子どもたちが「自然環境体験学習」を通して、視覚・聴覚・触覚などの諸感覚をフルに活用しながら、心の目をひらき、体で感じ取ったり、自ら働きかけたりする学習から、「やる気」を呼び起こし、「豊かな人間性」が培われていくことを期待しております。

日本の未来を託す子どもたちが、“感性豊かな子どもたち”に育ってくれることを願い、里山整備を進めていきたいと思ひます。

（花実の森プロジェクト 菅田忠志）



### 花山小が未来館で環境学習

北区花山小の4年生（3クラス）の子供たち80人が6月14日、環境未来館を訪れ体験学習に取り組みました。午前は「くらしとごみ」。DVDなどでゴミ出しルールや地球環境問題、神戸市のゴミ問題を学び、分別方法も体験。巨大なクレーンが稼働するリサイクル工場を見学しました。

午後はビオトープ「未来の泉」で生き物の生態を調べ、モンドリに入ったメダカ、ドジョウ、ヌマエビ、オタマジャクシなどを水槽に入れて観察しました（写真）。スイレン、ジュンサイの花も見ごろ、何種類ものトンボも飛び交って、子供たちは自然の素晴らしさを楽しんでいました。

環境学習は今年度から未来館が始めた企画で、7月中旬にも西区狩場台小の子供たちがやってくる予定です。（環境未来館・石谷完）

### 24年度の地域交流会を開催

地域活動を広めようと、在学生を対象にした24年度の地域交流会が6月20日（東灘・灘・中央・長田・西）21日（垂水・須磨）7月24日（北・兵庫＝台風で延期）にカレッジホールで開催。地域活動の現状説明のあと、「ボランティア活動の楽しさ」のテーマでグループ〈わ〉理事の長谷川博・小林精一・南形徹さんが体験談を語り、学習支援委員会の加藤勇治委員長は学習支援への協力を訴えました。行政側からも「学校現場が求める支援活動」の報告があり、午後は各区に分かれて交流会が開かれました。地域ボランティアは、町の清掃や学童見守り、校庭整備など62グループが活動しています。

### 秋に第10回マジックの祭典

マジッククラブ（森田明朝代表）は、11月24日（土）（13:30～16:00）、兵庫県民会館ホール（中央区）で「第10回マジックの祭典」を開催します。現役マジック同好会（古後健一会長）との合同公演で、OBと現役二十数組が日頃磨いた妙技を披露します。入場無料ですが、秋に整理券を配布します。「毎年の発表会が10回目となるのを機に、ハトが飛び出すように飛躍を願って外部の舞台で成果を見ていただくことにした」と森田代表は意気込みを語っています。問い合わせは森田代表へ（078-821-7624）。